

令和4年度

通常総会

◇日時 令和4年4月15日(金)14時15分

◇会場 かでる2・7 5階 520研修室

北海道社会教育委員連絡協議会

電話(直通)・FAX 011-271-5453

電話(代表) 011-231-4111(内)36-372

令和 4 年度
通常総会次第

- 1 開 会
- 2 会長挨拶 北海道社会教育委員連絡協議会会長 岩野 真志
- 3 来賓挨拶 北海道教育庁生涯学習推進局長 山上 和弘 様
- 4 議長選出
- 5 議 事
 - (1) 議案第1号 令和3年度事業報告
 - (2) 議案第2号 令和3年度一般会計及び財政基金特別会計収支決算及び会計監査報告
 - (3) 議案第3号 令和4年度活動方針(案)
 - (4) 議案第4号 令和4年度事業計画(案)
 - (5) 議案第5号 令和4年度一般会計収支予算(案)
 - (6) 議案第6号 令和4年度財政基金特別会計収支予算(案)
 - (7) 議案第7号 役員改選について
- 6 その他
- 7 議長退任
- 8 挨 拶 第61回北海道社会教育研究大会(留萌大会)実行委員会委員長
- 9 閉 会

〈議案第1号〉

令和3年度 事業報告

1 各種会議

(1) 北海道社会教育委員連絡協議会関係

- 3年 4月16日(金) 第1回理事会・通常総会
- 6月29日(火) 第2回理事会(書面)
- 10月 7日(木) 第3回理事会(中止)
- 12月 1日(水) 三役会議
- 4年 3月14日(月) 三役会議
- 3月28日(金) 第4回理事会(書面審議)
- 4月 8日(金) 会計監査(かでの2・7)

(2) 一般社団法人全国社会教育委員連合関係

- 3年 8月25日(水) 第1回理事会(書面)・第1回総会(書面)
- 第2回理事会(書面)・第2回総会(書面)
- 11月24日(水) 第3回理事会(書面)
- 12月17日(金) 第3回総会(書面)
- 4年 2月25日(金) 第4回理事会(オンライン)
- 3月25日(金) 第4回総会(書面)

2 理事会・総会

(1) 第1回理事会

○日時 令和3年4月16日(金) かでの2・7 1020会議室

○議事

- ①令和3年度通常総会議案について

(2) 通常総会

○日時 令和3年4月16日(金) 可出の2・7 520会議室

○議事

- ①令和2年度事業報告
- ②令和2年度一般会計及び財政基金特別会計収支決算について
- ③令和2年度一般会計及び財政基金特別会計監査報告について
- ④令和3年度活動方針(案)について
- ⑤令和3年度事業計画(案)について
- ⑥令和3年度一般会計予算(案)について
- ⑦令和3年度財政基金特別会計予算(案)について

(3) 第2回理事会

○日時 令和3年6月29日(火) コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催

○議事

- ①令和3年度全道表彰者の決定について
- ②令和3年度全国表彰候補者の推薦について

(4) 第3回理事会

○コロナウイルス感染症拡大防止のため第60回北海道社会教育研究大会(渡島大会)取り止めのため中止

(5) 第4回理事会

○日時 令和4年3月29日(月) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面会議

○議事

- ①令和3年度事業報告及び決算見込みについて
- ②令和4年度活動方針(案)について
- ③令和4年度事業計画(案)及び予算(案)について
- ④第61回北海道社会教育研究大会(留萌大会)について
- ⑤第42回北海道市町村社会教育委員長等研修会について

(6) 三役会議

①令和3年12月1日(水)

○第41回北海道市町村社会教育委員長等研修会中止による資料の作成配布について

○第60回北海道社会教育研究大会(渡島大会)中止による資料の作成配布について

○第42回北海道市町村社会教育委員長等研修会第1回企画委員会の協議内容について

○第61回北海道社会教育研究大会(留萌大会)について

②令和4年3月14日(月)

○令和3年度第4回理事会(書面審議)の議案等について

3 研修会・研究会

(1) 第41回北海道市町村社会教育委員長等研修会

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

○講演(対談)を予定していた講師執筆の小冊子を作成し、研修会資料として全会員及び全市町村教育委員会に配布

・「コロナ禍のもとでの市民の学びの現状と社会教育委員の役割」

北海道大学名誉教授・石狩市社会教育委員の会議 委員長 木村 純 氏

・「地域づくりと社会教育」

一般社団法人とちぎ市民協働研究会 代表理事 廣瀬 隆人 氏

(2) 第60回北海道社会教育研究大会(渡島大会)

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

○基調講演を予定していた講師執筆の講演内容をまとめた小冊子を作成し、大会資料として全会員及び全市町村教育委員会に配布

・「SDGsと社会教育」

函館市地域交流まちづくりセンター センター長 丸藤 競 氏

(3) 第63回全国社会教育研究大会石川大会

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため日程縮小、県外参加はオンライン方式

(4) 管内研修

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催10管内、中止4管内
実施管内の研修概要を道社連協会報第160号に掲載

4 広報等

(1) 機関紙「道社連協だより」の発行

○第159号(令和3年9月)、第160号(令和4年2月)の発行
○発行部数 各2,400部

(2) 一般社団法人全国社会教育連合機関誌「社教情報」の紹介、講読の取りまとめ等

○各市町村教育委員会及び社会教育委員に「社教情報」の紹介、講読の取りまとめ
○「社教連会報」の配布

5 表彰

(1) 永年勤続功労社会教育委員表彰

○北海道社会教育委員連絡協議会表彰規程第2条に基づき34名を表彰した。

岡田 寿典(知内町)	白井 哲也(知内町)	城地 秀樹(知内町)
金森 一泰(知内町)	岩澤 貢(乙部町)	山木 傑(滝川市)
永森 直弘(砂川市)	高村千加子(砂川市)	山根 ゆみ(砂川市)
藤井 吉美(栗山町)	木藤 浩二(栗山町)	原田 優司(栗山町)
川上 仁美(北竜町)	天日 守(富良野市)	金村 哲也(剣淵町)
水口 俊夫(天塩町)	高橋 恵子(天塩町)	小出 富夫(枝幸町)
佐々木美津子(豊富町)	佐藤 悟(利尻町)	秋山 範彦(滝上町)
佐藤 直子(訓子府町)	島貫 亨(訓子府町)	川戸 洋子(訓子府町)
村口多加代(訓子府町)	得能 實(遠軽町)	岩船 定男(遠軽町)
山田 英孝(日高町)	池田美智子(様似町)	馬場 貴明(鹿追町)
小松 洋一(足寄町)	星 光彦(標茶町)	鳴海 和生(中標津町)
山下 智代(中標津町)		

(2) 全国社会教育委員連合会長表彰

○一般社団法人全国社会教育委員連合表彰規程第4条の規程に基づき4名が受表彰した。

今井 琴音(乙部町) 徳保 喜幸(枝幸町) 中楠 毅(滝上町)
我妻 一則(更別村)

<議案第2号>

令和3年度 一般会計収支決算書

◆収入の部

(単位:円)

科目	3年度予算額	3年度決算額	増・減△	備 考
会 費	5,919,000	5,922,000	3,000	3,000円×1,968人(会員会費) 3,000円×6人(賛助会員会費)
交 付 金	0	0	0	全国社会教育委員連合から
委員長研修費	450,000	91,000	△ 359,000	委員長研修中止に伴う会場借り上げ 料返戻金(前年度支出分)
繰 越 金	951,949	951,949	0	令和2年度繰越金
雑 収 入	25,051	42,068	17,017	社教情報手数料(84・85号)42,044 円 預金利息 24 円
合 計	7,346,000	7,007,017	△ 338,983	

◆支出の部

(単位:円)

科 目	3 年度予算額	3 年度決算額	増・減△	備 考
管 理 費	4,236,000	3,213,862	△ 1,022,138	
人 件 費	2,330,000	2,316,000	△ 14,000	給与・手当(交通費含む)
福利厚生費	180,000	164,279	△ 15,721	社会保険料(健康保険、厚生年金保険) 労働保険料
旅 費	1,100,000	119,870	△ 980,130	監査 三役会(2回)
事 務 費	40,000	92,416	52,416	消耗品、コピー用紙
印刷・図書費	11,000	10,505	△ 495	月刊社会教育購入代
通 信 費	170,000	146,724	△ 23,276	電話料, 宅配料、振込手数料、広告料
使用料・賃借費	270,000	254,068	△ 15,932	事務室使用料、コピーレンタル料 会議室使用料 コピーPC料
負 担 金	110,000	110,000	0	全国社教連・道生涯学習協会
渉 外 費	25,000	0	△ 25,000	
事 業 費	2,952,000	3,382,451	430,451	
北海道大会費	320,000	527,069	207,069	渡島大会研究資料印刷 渡島大会資料執筆料
管内研修助成金	1,292,000	1,291,110	△ 890	85,000円・7管内、 90,000円・2管内 100,000円・4管内、105,000円・1管内
委員長研修費	450,000	1,142,030	692,030	3年度会場借上料、大会資料印刷・執筆料
研修派遣費	350,000	3,660	△ 346,340	全国大会参加料
表 彰 費	410,000	299,665	△ 110,335	道表彰盾(34人)、 全国表彰祝い品(4人)
機関紙発行費	130,000	118,917	△ 11,083	道社連協だより(2回) 原稿執筆者謝礼(6名)
繰 出 金	0	0	0	
予 備 費	158,000	0	△ 158,000	
合 計	7,346,000	6,596,313	△ 749,687	

◆差引残額

(収入額) (支出額) (残 額)
7,007,017 - 6,596,313 = 410,704 (次年度へ繰り越し)

令和3年度

財政基金特別会計決算書

◆収入の部

(単位:円)

科目	3年度予算額	3年度決算額	増・減△	備考
繰越金	4,953,087	4,953,087	0	2年度繰越金 道銀定期 2,961,226 北洋銀行 1,991,861
繰入金	0	0	0	一般会計から繰入
雑収入	260	66	-194	道銀定期利息 50 北洋銀行利息 16
合計	4,953,347	4,953,153	△ 194	

◆支出の部

科目	3年度予算額	3年度決算額	増・減△	備考
合計	0	0	0	

◆差引残額

収入 4,953,153 - 支出 0 = 残額 4,953,153 (次年度繰越金)

◆繰出金の経緯

○ 平成24年度 234,670 円
 ○ 平成25年度 365,845 円
 ○ 平成26年度 895,197 円
 ○ 平成27年度 1,000,925 円
 ○ 平成28年度 1,453,162 円
 ○ 平成29年度 1,500,000 円
 ○ 平成30年度 △ 694,906 円
 計 4,754,893 円

令和3年度 一般会計及び財政基金特別会計監査報告


令和3年度一般会計及び財政基金特別会計に係る下記帳簿、証拠書類を監査した結果、適正に執行されていることを確認したので報告します。

記

- 1 一般会計収支決算に係る帳簿・証票・預金通帳
- 2 財政基金特別会計収支決算に係る帳簿・証票・預金通帳

令和4年4月8日

北海道社会教育委員連絡協議会

監事 赤上 尚也 

監事

印

〈議案第3号〉

令和4年度 活動方針 (案)

人生100年時代、新たな感染症への対応など、社会が急速かつ大きく変化する今日、子供から高齢者まで誰もが安全で安心して暮らすことのできる社会を築いていくことが求められています。特に、ひとりの人も取り残されることなく生きがいを感じることできる包摂的な社会を目指すことが大切です。また、充実した人生を送るため、必要な時に必要な学びを通して、心身の成長・健康を保ちながら活動できる環境の一層の充実が求められています。

人口減少による地域の活力低下や様々な地域の課題を克服し、地域の人々が安心して心豊かに暮らすことのできる地域づくりのためには豊かな学びの機会が重要です。

社会教育は、学びを通じて個人の成長を期するとともに地域社会の発展に重要な意義と役割を持つものであり、その要となるのが、学びの場を通じた地域住民相互の「つながり」です。住民自らが地域の担い手として、よりよい地域づくりに主体的に関わっていくことが求められています。

そのため、当協議会はこれまで諸先輩が歴史の中で積み上げてきた成果と新たな課題を踏まえ、社会教育委員制度の趣旨のもと、全道の社会教育が今後一層充実されることを願い、「交流・連携・研修・支援」を意識しながらその役割を果たしてまいります。

1 社会の変化に対応する社会教育の役割を考え、委員一人ひとりが自己変革を図るとともに、社会教育の振興、生涯学習の推進に努めます

(1) 各市町村の社会教育推進計画等の策定・実践

- ・住民のニーズや地域課題の把握
- ・住民の学習意欲の高揚啓発と学習機会の場や学習成果を活かす場の設定
- ・地域住民等と行政関係者が協働して課題解決する仕組みづくり

(2) 家庭教育の充実、青少年の豊かな心の育成などの啓発活動

- ・親を対象にした事業の促進
- ・地域の人材・組織と連携しての活動
- ・学校、家庭、地域社会の連携・協働

(3) 各種地域コミュニティの形成と住民参画のまちづくりの推進

- ・公共を支える人材の育成
- ・地域課題解決に向けた自治会、関係団体（民間含む）等との連携
- ・官民協働による文化・スポーツ活動、異世代間の交流事業等の促進

- 2 研修活動、情報交流活動を積極的に行い、社会教育委員としての役割の自覚と資質の向上を図るとともに、研修成果の地域住民への還元に努めます
 - (1) 社会教育委員の運営参画（役割分担）の活発化
 - ・研修・研究事業の工夫・改善を図るため、事業の企画・実行委員会の充実
 - ・研究テーマ、内容（協議題等）、協議方法の改善、調査項目等の検討
 - (2) 各種研修会、研究会への積極的な参加と還元（全国、全道、地区、市町村等）
 - ・地区研修又は市町村研修における新任社会教育委員研修の導入・充実
 - ・社会教育委員講師の育成（講師リストの作成、近隣管内・市町村での派遣交流）
 - (3) 広報活動等による情報の提供と交流の充実
 - ・全国機関誌「社教情報」の購読の奨励
 - ・機関紙「道社連協だより」の充実
 - ・各種研修会時における地域情報の交流促進（道内の優れた実践の収集・蓄積）
 - ・IT活用の検討
 - (4) 永年の功績に対する功労者の顕彰
 - ・北海道社会教育委員連絡協議会表彰
 - ・全国社会教育委員連合表彰候補者の推薦
- 3 時代の流れを見据えた組織の運営・充実に努めます
 - (1) 自主自立を基本理念とした運営
 - ・社会教育委員の主体的な参画による組織運営（自主研修の立ち上げ）
 - ・道、管内及び市町村社連協事務局間の密接な連携
 - (2) 行政機関や関係機関・団体等との連携、協力
 - ・北海道教育委員会、全道社会教育主事会、全国社会教育委員連合や北海道公民館協会など道内社会教育関係団体との連携・協力
 - (3) 道社連協事務局の適切な運営
 - ・予算の効率的執行
 - ・社会教育委員活動の活発化や会員数の減少などの変化に対応した運営

<議案第4号>

令和4年度 事業計画 (案)

1 各種会議

(1) 理事会

- 第1回 令和4年 4月15日(金) (かでの2・7 1010会議室)
- 第2回 令和4年 6月13日(月) (かでの2・7)
- 第3回 令和4年 7月7日(木) (かでの2・7)
- 第4回 令和5年 3月 (かでの2・7)

(2) 通常総会

令和4年 4月15日(金) かでの2・7 520研修室

(3) 第43回北海道市町村社会教育委員長等研修会企画委員会
企画委員による研修内容・方法等の検討(3回予定)

(4) 一般社団法人全国社会教育委員連合理事会・総会

- 第1回 令和4年 5月20日(金) 理事会・総会(東京)
- 第2回 令和4年 10月26日(水) 理事会(広島市)
10月27日(木) 総会(広島市)
- 第3回 令和5年 3月 理事会・総会(東京)

2 研修会・研究会

(1) 第42回北海道市町村社会教育委員長等研修会

○主 題 「社会教育委員とは」

～社会教育委員の必要性は？期待されていることは？～

○期 日 令和4年 7月7日(木)～8日(金)

○会 場 かでの2・7 かでのホールほか

○日程等

■7月7日(木) 全体会 かでのホール

・開会式

・講 話

「市町村社会教育委員長に期待する」

北海道教育庁社会教育課 課長補佐 長岡 広之 氏

・対 談

「社会教育委員とは」

～社会教育委員の必要性は？期待されていることは？

講師 前恵庭市社会教育委員長 庄司 宏 氏

前佐呂間町社会教育委員長 船木 耕二 氏

コーディネーター 北海道教育庁社会教育課 課長補佐 長岡広之 氏

■7月8日(金) 分科会 かでの2・7 520・710・820・1060 研修室

・グループワーク

○参加費 1人 3,000円

(2) 第61回北海道社会教育研究大会（留萌大会）兼全国社会教育委員連合北海道ブロック大会

○主 題 「社会教育がもたらす地域づくり」

○期 日 令和4年10月14日（金）

○会 場 ZOOMによるリモート開催

○内容等

・開会式

・表彰式

・特別講演 講師 広島県大竹市玖波公民館 河内 ひとみ 氏

・基調講演 講師 北海道医療大学准教授 長谷川 聡 氏

・分科会

(3) 各管内社会教育委員研修会（地区研修会）

○開催時期 令和4年5月～12月

(4) 第64回全国社会教育研究大会広島大会

○主 題 「これからの時代を見据えた学びのデザイン」

～ニューノーマル時代における社会教育の在り方～

○期 日 令和4年10月26日（水）～28日（金）

○会 場 広島市 広島国際会議場

○内容等 表彰式・記念講演・シンポジウム・分科会

3 機関紙（誌）等の発行・紹介、資料（情報）等の配布

(1) 機関紙「道社連協だより」発行

○第161号（令和4年9月）・第162号（令和5年2月）の発行

○記録性、情報提供に加え、会員の声を紹介するコラム「社会教育委員の眼・心」の掲載

・第161号～日高、オホーツク管内

・第162号～留萌、胆振、後志、釧路管内

(2) 一般社団法人全国社会教育委員連合機関誌「社教情報」の紹介、講読取まとめ

○年2回発行（N087、N088）

(3) 一般社団法人全国社会教育委員連合発行「社教連会報」の配布

4 表彰

(1) 永年勤続功労社会教育委員表彰

・市町村社会教育委員として通算10年以上在任し社会教育の振興に貢献した者、特に顕著な功績があった者を表彰する。

(2) 全国社会教育委員連合会長表彰候補者の推薦

・一般社団法人全国社会教育委員連合表彰規程施行細則の推薦基準に基づき表彰候補者を推薦する。

<議案第5号>

令和4年度 一般会計収支予算書 (案)

◆収入の部

(単位:円)

科 目	4年度予算額	3年度予算額	増・減△	備 考
会 費	5,922,000	5,919,000	3,000	会員会費 3,000円×1,968人 協賛会員会費 3,000円×6人
交 付 金	100,000	0	100,000	全国社会教育委員連合から
委員長研修費	450,000	450,000	0	3,000円×150人
繰越金	410,704	951,949	△ 541,245	令和3年度繰越金
雑収入	25,296	25,051	245	社教情報手数料 12,636×2(86,87号) 預金利息 24円
合 計	6,908,000	7,346,000	△ 438,000	

◆支出の部

(単位:円)

科 目	4年度予算額	3年度予算額	増・減△	備 考
管 理 費	4,041,000	4,236,000	△ 195,000	
人 件 費	2,400,000	2,330,000	70,000	給与・手当(交通費)
福 利 厚 生 費	190,000	180,000	10,000	社会保険料(健康保険) 労働保険料、健康診断料
旅 費	850,000	1,100,000	△ 250,000	会長(東京都、札幌市) 理事会(6月、2月)、監査
事 務 費	40,000	40,000	0	総会資料作成、消耗品、コピー用紙、 封筒等
印刷・図書費	11,000	11,000	0	月刊「社会教育」
通 信 費	160,000	170,000	△ 10,000	電話料、宅配料、振込手数料、切手代、 広告料
使用料・賃借費	260,000	270,000	△ 10,000	事務室使用料、コピーレンタル料、 会議室使用料
負 担 金	110,000	110,000	0	全国社会教育委員連合、道生涯学習協会
渉 外 費	20,000	25,000	△ 5,000	慶弔費
事 業 費	2,792,000	2,952,000	△ 160,000	
北海道大会費	320,000	320,000	0	
管内研修助成金	1,292,000	1,292,000	0	地区研修助成費
委員長研修費	450,000	450,000	0	会場借上げ、講師謝金、講師旅費 企画委員旅費
研修派遣費	300,000	350,000	△ 50,000	全国・全道大会派遣旅費(2名)
表 彰 費	300,000	410,000	△ 110,000	道表彰表彰盾(40人程度)、送料 全国表彰祝い品(4人)
機関紙発行費	130,000	130,000	0	道社連協だより(2回) 原稿執筆者謝礼
繰 出 金	0	0	0	財政基金特別会計へ
予 備 費	75,000	158,000	△ 83,000	その他必要経費
合 計	6,908,000	7,346,000	△ 438,000	

<議案第6号>

令和4年度 財政基金特別会計予算書(案)

◆収入の部

(単位:円)

科目	4年度予算額	3年度予算額	増・減△	備考
繰越金	4,953,153	4,953,087	66	3年度繰越金 道銀定期 2,961,276 北洋銀行 1,991,877
繰入金	0	0	0	
雑収入	66	260	-194	利息 道銀定期 50 北洋銀行 16
合計	4,953,219	4,953,347	△ 128	

◆支出の部

(単位:円)

科目	4年度予算額	3年度予算額	増・減△	備考
合計	0	0	0	

<議案第7号>

役員改選について(案)

1 提案理由

令和2年度に選出した役員(会長、副会長、理事、監事)の任期(2年)が満了となるため、新たに選出しようとするものである。

(参考)会則の抜粋

第7条 役員は総会において選任する。理事は管内社連協の代表をもってあてるものとし、総会の承認を受ける。

2 会長、副会長は理事の互選により選出し、総会の承認を受ける。

3 監事は総会において評議員より選出する。

2 提案内容

総会での役員の選任に当たって会則では、上記1の会則抜粋のとおり、各管内の総会が終了し、管内代表が選任されていることが前提となる。

しかし現時点ではすべての管内の社連協総会が終えておらず、全管内の代表が決まるのは5月下旬頃と考えられる。

このようなことから、本日の総会で全管内の代表者名を挙げて承認を得ることが出来ないことから、下記の内容で承認をいただきたく提案するものである。

(過去の改選期においても全管内の総会が終了していない場合においては、同様の内容で提案し承認されている。)

記

◆ 理事の選任

今後、各管内の総会において選任された管内代表を道理事とすること。

◆ 監事の選任

これまで石狩管内及び空知管内からの選出を慣例としてきていることから、両管内の評議員の中から選出すること。

◆ 会長及び副会長の選任

会長、副会長人事についてはこれまで同様、会長に一任すること。

○ 会長

十勝管内芽室町 委員長 岩野 真志 氏

○ 副会長

すべての管内の代表が選出された段階で会長に一任。



令和4年度 通常総会資料正誤表

頁	誤	正
1	1 各種会議 (1) 北海道社会教育委員連絡協議会 3月28日 <u>(金)</u> 第4回理事会(書面審議)	1 各種会議 (1) 北海道社会教育委員連絡協議会 3月28日 <u>(月)</u> 第4回理事会(書面審議)
2	(5) 第4回理事会 ○日時 令和4年3月 <u>29</u> 日(月) 新型・・・	(5) 第4回理事会 ○日時 令和4年3月 <u>28</u> 日(月) 新型・・・